

# 越前市議会だより

第67号

令和4年(2022年)2月15日(火)  
発行 編集 越前市議会  
〒915-8530  
福井県越前市府中一丁目13番7号  
TEL:0778-22-3426  
FAX:0778-23-3000  
http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html



## 新幹線開業に向け、 駅舎の完成近づく

～北陸新幹線「越前たけふ駅」  
工事の進捗状況を視察～



2階 ホーム部分

令和2年11月から建設が開始され、昨年夏にはその外観を現した北陸新幹線「越前たけふ駅」の工事の進捗状況について、議員が現場視察を行いました。

まず、1階の中心部で、鉄道・運輸機構職員より駅舎の概要について説明を受け、その後、2階ホームを見学しました。

コウノトリをモチーフとした駅の外観はほぼ完成しており、今後、コンコースの天井に、越前和紙の技法である「流し漉き」を表現した和紙照明を設置し、ホームの待合室に地域の伝統文化が感じられるような格子戸、白壁をあしらった内装工事を進め、今年の夏に完成予定とのことでした。

越前たけふ駅は、市の伝統文化や豊かな自然環境に触れる玄関口として、また、駅周辺エリアは、来訪者と地域住民の交流の場としての役割が期待されています。

### 12月定例会の概要

令和3年12月越前市議会定例会は、11月26日から12月17日までの22日間にわたって開かれました。

この定例会では、令和3年度一般会計補正予算案など予算案8件、越前市国民健康保険条例の一部改正についての条例案1件および武生中央公園屋内催事場の指定管理者の指定についての一般議案1件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、いずれも原案どおり可決されました。さらに、令和2年度各会計決算認定案等7件を認定・可決しました。

また、教育委員会委員、公平委員会委員、監査委員に関する人事案3件に同意し、選挙管理委員会委員4名および同補充員4名の選挙を行いました。

このほか、「政府の新型コロナ禍での米価格暴落対策が皆無の中、自治体独自の稲作農家への直接支援策を求める意見書提出を求める請願」1件を不採択としました。

### 1月臨時会の概要

令和4年1月越前市議会臨時会は、1月14日に開かれました。

この臨時会では、令和3年度一般会計補正予算案1件が提出され、各常任委員会での審査を経て、原案どおり可決されました。

### 本号の主な内容

- 2～3面 ◆代表質問・質疑
  - 4～5面 ◆一般質問ほか
  - 6面 ◆委員長報告
  - 7面 ◆議決結果
  - 8面 ◆議員研修会報告
- 3月定例会日程

# 12月定例会 代表質問

## 会派 創至



おがた よしのぶ  
小形 善信

### ■新たな市総合計画策定の考えは

**問** 市総合計画を新しく策定し、各種計画と連動すべきと考えるが、市長選で述べていた6つの新時代宣言は、計画にどのように位置付け反映させるのか。

**答** 新型コロナウイルスや北陸新幹線敦賀開業など社会情勢が大きく変化しているため、市総合計画を改定する必要があると考えている。中長期的な視野を持って、基本構想も含め、各種計画の見直しの範囲、手法、スケジュールを検討し、3月議会にはその具体的内容をお示しする。

### ■「千年の歴史をつなぐ文化県都宣言」とは

**問** 「文化県都宣言」とはどのようなもので、施策にどう反映するのか。本市の自然、伝統産業、歴史と文化の豊かさをアピールし、ユネスコの「創造都市ネットワーク」への登録を目指すことの効果は。

**答** 県内随一の歴史と文化が息づく本市の文化力を全国にアピールするため、「文化県都」と位置づけ宣言する。また、ユネスコ創造都市ネットワークへの登録により、産業や歴史を世界にアピールしてイメージアップを図り、文化芸術を生かした産業振興、都市の魅力を高めたい。

### 質問項目

- ①市政運営の基本方向について
- ②6つの新時代宣言について
- ③市民との対話と自治振興事業について
- ④市役所の組織風土について

## 市民ネットワーク



よしだ けいぞう  
吉田 啓三

### ■人口問題・定住化対策の市長の考えを問う

**問** 山田市長の定住化に対する思いと今後の事業展開についての考えは。

**答** 進学、就職のときに県内にとどまってもらう施策と、県外へ出た方に戻ってきてもらう2つの施策が必要である。各種補助制度による移住定住の促進や、市内高校・県内大学との連携によるふるさと教育など愛着心の醸成とふるさと就職の促進を図ることに加えて、新たに若者の定住化やU・Jターン促進に向けた施策を進める。

### ■営業本部長としての取り組みとは

**問** 市長選挙でのマニフェスト「世界から人を呼び込む営業本部長を担当する」とは具体的にどのような取り組みを考えているのか。

**答** 本市を始め周辺市町には、歴史や文化、食、伝統工芸品など豊富な地域の宝がある。これを生かしながら、本市のブランド力を発信するため、自ら先頭に立って主要メディアや民間企業に直接トップセールスを行う営業本部長となる。

### 質問項目

- ①市長の政治姿勢について
- ②人口問題・定住化対策
- ③新型コロナウイルス感染症対策
- ④北陸新幹線越前たけふ駅周辺整備
- ⑤社会基盤の整備
- ⑥地域防災力の強化
- ⑦原子力災害対策の強化
- ⑧農業政策
- ⑨共生社会（障がい者福祉）の実現
- ⑩高齢者福祉（介護保険）の推進
- ⑪日本一の子ども子育て環境の整備
- ⑫安心して学べる教育環境の整備
- ⑬質の高い市民サービスを提供するための職員体制の充実

## 誠和会（自民）



おおく ほけんいち  
大久保 健一

### ■広域農道4車線化の考えは

**問** 広域農道4車線化を進める考えはあるのか。また、国道8号までの延伸について今後県に対し、しっかりと要望していただきたいが、市長の所見は。

**答** 国道8号、都市計画道路戸谷片屋線、旧丹南広域農道による中心市街地を取り囲む4車線ネットワークを完成させることで、円滑な市内交通と災害に強いまちづくりができる。全線4車線化に向け、県に対し強く要望していく。

### ■吉野瀬川の豪雨対策を進めよ

**問** 吉野瀬川ダム本体工事と河川改修工事は同時期に完成できるのか。

**答** 吉野瀬川ダム本体工事は令和7年度に完成予定であり、河川改修工事についても「国土強靱化5カ年加速化対策」予算等を活用しながら鋭意進めると県から聞いている。吉野瀬川ダム本体工事と同時期に完成するよう県に要望していく。



### 質問項目

- ①越前たけふ駅周辺整備について
- ②危機管理体制について
- ③除雪対応について
- ④広域農道4車線化について
- ⑤鳥獣害対策について
- ⑥国民健康保険について
- ⑦学社融合について
- ⑧保育園・幼稚園の統合について

# 12月定例会 議案審議

## 12月補正予算

一般会計 総額 33億1,007万3千円の追加補正  
(補正後一般会計総額394億5,105万9千円)

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業
- ・ふるさと納税推進事業 ほか



### 一般議案審議

#### ■指定管理者の指定

武生中央公園屋内催事場の指定管理者の指定について

**問** 令和4年4月1日以前の施設利用の予約受付は誰が行うのか。また、4月1日以降は、誰が受付を行うのか。

**答** 令和4年3月31日までは、4月1日以降の予約も含めて市のにぎわいづくり課が行い、4月1日からは、カワイ・山崎屋共同事業体が、武生中央公園温水プールの受付で行う予定である。

**問** イベントが無い時は、エア遊具等を配置することだが、安全管理のため的人员配置は行わないのか。

**答** 遊具等が有料の場合は、当然配置することになる。安全面については、今後指定管理者と確認していきたい。

**問** 施設使用料の減免の具体例を示してほしい。

**答** 市教育委員会または市教育委員会が構成団体となる実行委員会、市認定ごども園、保育園、幼稚園、小学校、中学校等が主催する場合は全額免除となる。また、公用・公共用、およびそれに準じる活動を、例えば市自治連合会、市PTA連合会、市いきいきシニアクラブ、スポーツ協会、文協、女性会、壮年会等が主催する場合は80%の減免になる。



武生中央公園屋内催事場(まさかりどんの館)

日本共産党議員団



前田 修治

日本国憲法を暮らしに活かす市政運営を

問 新市長の基本的な政治姿勢として、民主主義、基本的人権の尊重、平和主義を原則とする日本国憲法と、住民の福祉の増進を図ると定めた地方自治法の精神を基本とした市政運営を求めたい。男女平等と女性の権利をどのように実現していくのか。

答 日本国憲法や地方自治法にのっとっての市政運営は当然であると認識しており、市民と対話しながら市政発展に誠心誠意取り組んでいく。「女性生き活き委員会」の設置と、家庭や地域、職場での取り組み、学校教育を通じて男女平等を推進し男女共同参画社会を目指す。

学校女子トイレに無償で生理用品の配置を

問 コロナ禍のもと、経済的理由で生理用品を購入できない問題が広がり、県内でも学校などに生理用品を配置する自治体がある。9月議会で学校の女子トイレに無償での生理用品の配置を求めたが、いつからどのような方法で実施する予定なのか。

答 9月議会終了後、市教育研究会保健研究会で配置について検討し、衛生上の問題や気兼ねなく使用できるようにという意見から、ナプキンストッカーを用意し、年内に小・中学校の児童・生徒用の全トイレ約540個室に配置できるように現在準備している。

質問項目

- ①憲法を暮らしに活かす市政について
②国民健康保険制度の今後の運営方針について
③高齢者の補聴器購入費助成について
④市営住宅の連帯保証人制度について
⑤生活保護行政について
⑥学校給食の無償化について
⑦子ども医療費の自己負担金について
⑧生理用品の学校トイレへの配置について
⑨福祉灯油助成事業について
⑩新幹線新駅周辺整備事業について

政新会



安立 里美

新年度に向けた予算編成方針は

問 新年度予算は前年度予算の範囲とする「一般財源ゼロシリング」とはどのような予算要求を基本とするのか。またゼロ予算事業の見える化とはどのような事業と効果を考えているのか。

答 新年度予算については、経常的経費の徹底的な見直し、費用対効果の低い事業の廃止や再構築に努め、一般財源が前年度の範囲内になるよう指示している。新規事業がある場合は既存事業を見直す中で、予算要求を行うことを原則としている。また、予算をかせずに職員の創意工夫で行っている事業を「ゼロ予算事業」として市民にPRしていく。

就学児の子ども医療費自己負担金を廃止すべき

問 平成30年度から子ども医療費の窓口無料化が実施されているが、小学生以上の子どもは1医療機関当たり月額500円の自己負担金が必要である。現時点で県内17市町のうち10市町が廃止しているが、本市で廃止できない理由は。

答 自己負担金は、県補助事業の対象外であり、市内小児科医からの意見をお聞きする中で制度化した経緯もあり、当面方針を維持する考えだが、他市町の状況把握やコミュニケーションを行ってきたい。

質問項目

- ①越前市長としての今後の市政運営について
②新型コロナウイルス感染症対策に関して
③農業政策について
④子ども政策について
⑤高齢者政策について
⑥安全で安心なまちづくりから防災・減災について

未馬会



近藤 光広

越前たけふ駅周辺まちづくりの考えを示せ

問 官民連携プロジェクトの今後の方向性と新市長による新たな取り組みは。

答 パートナー企業である戸田建設との連携を維持し、個別企業の進出については、市が前面に立って対応する。また、このエリア内に自動運転等のモビリティ技術、5G・6G等の通信技術の活用や、RE100エリアの設置によりスマートシティの要素を盛り込む。新たな取り組みとして、商業施設等の誘致は市が前面に立ち、県に応援体制のスキームと一緒に検討してもらうなど、スケジュール感を持って実現可能なことから実行していく。

プロジェクトチームによる効果を示せ

問 市長就任後、新設した3つのプロジェクトチームに期待する効果は。また地域ブランディングの磨き上げとは何か。

答 プロジェクトチームの効果は、新幹線開業に向け、地域ブランディングの発信、誘客を個別に行う仕組みづくり、駅周辺開発を市内で横断的に対応する体制づくりを進めること。地域ブランディングの磨き上げとは、例えば越前和紙のレンブラントによる使用実績の発信や、世界遺産の追加登録など、強みを生かしたアピールによりブランド価値を高めていくことである。

質問項目

- ①プロジェクトチームによる効果について
②北陸新幹線越前たけふ駅周辺について
③新型コロナウイルス感染症について
④認定こども園開設への対応について
⑤子ども子育て、高齢者支援について
⑥中心市街地活性化について
⑦越前市環境基本計画について
⑧空家対策について
⑨UI-Jターン等定住化促進について
⑩国土強靱化対策について
⑪農林業対策について
⑫教育環境について
⑬財政運営について

補正予算審議

ふるさと納税増収見込みに伴う経費増

ふるさと納税推進事業

補正額 1億84万円

問 増収になった理由は何か。

答 今まではふるさと納税の募集サイトは1つだけだったが、令和3年度からさらに2つのサイトを追加した。また、人気商品を組み合わせたセットなど、返礼品を充実させた結果、前年比約150%の増収となった。

問 増収に伴う経費の内訳は。

答 今回2億円の増収を見込んでおり、経費の内訳は、返礼品が6000万円、その他サイトの決済手数料、返礼品の配送代など事務費を合わせて1億84万円になる。

問 企業版ふるさと納税の実績は。

答 平成28年度から平成30年度までに、複数の企業から合計310万円の寄付があった。今年度は現時点で100万円の寄付があり、今後も積極的に働きかけて増収につなげていきたい。

問 ふるさと納税は、寄付者の希望通りに使用されているのか。

答 使用用途については、寄付していたら、市総合計画に基づくと5本の柱



ふるさと納税返礼品(例)

の事業から、または市に任せるかを選んでいたとき、一般財源として活用させていた。

農業の収入保険料を県と市が一部補助

収入保険加入推進事業

補正額 250万円

問 保険の詳細と補助に至る背景は。

答 青色申告を行っている農業者を対象に、農産物の販売収入の減少分を補填する保険である。

今回、新型コロナウイルスの影響による米価下落など、農業収入の減少が避けられない見込みであることから、福井県農業共済組合から、保険料の一部助成を求め要請書が提出され、この要請を受けて、県および市で補助を行うことになった。

新幹線開業に向けたイベントを企画

北陸新幹線開業機運醸成事業

補正額 700万円

問 事業の内容は。

答 令和6年春の北陸新幹線開業に向け、県の呼びかけに応じ開業の機運を高めるため、2年前、1年前、開業当日とイベントを実施する予定である。

第1弾は、1月下旬から3月27日までの期間、市内の伝統工芸品の施設や飲食店で使ったレシートをイベント当日の抽選券として、ふるさと納税の人気商品をプレゼントする企画である。

第2弾は、3月26日、27日に武生中央公園屋内催事場で北陸新幹線沿線グルメフェアを開催し、観光PRや物産販売、レシートの抽選会を実施する。



12月定例会 一般質問

12月定例会では、12人の議員が12月6日、7日の2日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは3月に掲載予定の市議会ホームページ会議録検索システムをご覧ください。

選挙

若者の低投票率克服に向けて

若者の低投票率が今までも指摘されているが、考えられる要因は、全国的な傾向として、自分が投票しても何も変わらない、政治や選挙に興味がないなどの政治参加意識の低下がある。また進学や就職等で県外へ引越す際に住民票を異動しない場合が多く見られ、不在者投票制度の手続きが面倒なことも要因の一つではないかと考えられる。

他の質問項目

- ・道路脇の枯れ木の措置は、道路管理者が対策を講ずるべき
・道路施設等の維持管理業務包括委託の進捗状況は



日本共産党議員団 加藤 吉則

教育

学校統廃合問題についての議論を

将来の人口減による少子化により、学校統廃合の問題は、喫緊の課題である。真剣に議論を始めるべきではないか。

学校の統廃合については、地域の合意形成を得ながら、市の将来を担う子どもたちにとって最適な教育環境をどのように再編していくか検討することが重要であり、市教育施設等長寿命化方針に沿った施設の整備検討とあわせて今後進めていく必要があると考えている。

他の質問項目

- ・自治振興会の見直しについて
・市長の職員育成方針



会派 清水 創至 一徳

給食の自園・自校直営方式を堅持せよ

本市は小学校や保育園等の給食を自園・自校直営方式により提供してきたことで、全国に誇れる給食として評価されている。引き続き、自園・自校直営方式を堅持し、正職の調理員を採用すべき。

本市においては、自校・直営方式により、栄養ある温かい給食が提供され、日常的に子どもたちの食育につながっていることから、現在の方式を継続したい。令和4年1月の職員採用試験で調理員の採用を行い、必要な職員数の確保に努めたい。

他の質問項目

- ・市民との対話について



市民ネットワーク 三田村 輝士

インクルーシブ教育を進めよ

インクルーシブ教育を見据えた特別支援学級の充実を期待するが、教育長の考えは。

共生社会の構築のためには、インクルーシブ教育システムを見据えた特別支援教育を着実に進める必要がある。子どもたちが特別支援学級や通級による指導、通常学級といった学びの場を行き来し、学習活動に参加しているという実感や達成感を持ちながら充実した時間を過ごせる教育環境の整備が必要であり、県への学級設置の要望とともに、本市独自で特別支援教育のさらなる充実につなげていきたい。



市民ネットワーク 砂田 竜一

福祉

地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業を推進せよ

「断らない相談支援」として社会福祉課内に設置した「福祉総合相談室」を特に利用してもらいたい相談内容は。

どんな相談でも気軽に利用いただきたいが、特に、虐待やひきこもり等、複合的な課題を持つ家庭の相談や、困難事案について相談いただきたい。

他の質問項目

- ・鳥獣害対策の推進について
・市環境基本計画について



諸派 桶谷 耕一



会派 吉村 美幸

環境

市環境基本計画改定における取り組みは

二酸化炭素排出量が多い事業所や工場等の脱炭素の取り組みは。また、再生可能エネルギーの取り組みは、太陽光発電だけか。

脱炭素社会の実現に向けた事業所、工場の取り組みについては、再生可能エネルギー設備の設置や再生可能エネルギー由来の電気の購入等を普及促進し、23の取り組み事例を選定し、省エネ行動を推進する。再生可能エネルギーについては、太陽光だけでなく実績のある水力発電はじめ、その他のエネルギーについても推進する。

他の質問項目

- ・市の財政について
・真の市民目線について



未馬会 橋本 弥登志

防災

近年多発する想定を超えた大規模災害への対応は

危機管理体制の強化の中で、福祉的な考え方や学校での防災教育を推進し「災害に強いまちづくり」をどう進めるか。

「災害に強いまちづくり」とは、災害や感染症などの危機事象から市民の生命と財産を守る事である。近年、過去に例を見ない規模の災害の多発により、ハード面の整備では対応しきれないケースが想定される。減災や二次災害防止の観点から、市民の防災意識の高揚や適切な情報の把握、スピーディーな情報伝達などソフト面の整備も重要であると考えている。

他の質問項目

- ・高齢者福祉について
・農業政策について



政新会 川崎 悟司

※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をただすために  
行う質問のことをいいます。

歴史文化

文化県都宣言として歴史文化をアピールせよ

**問** 庁舎建設現場にて発掘された府中城の石垣は、全て庁舎前ひろばに使われているのか。また立体駐車場現場から出土した石垣が、平和町旧みどり保育所に放置されているが、理由と今後の活用方法は。  
**答** 庁舎下の石垣はひろば前に復元し、破損しているものは間詰め等で使用した。現在、保管している石垣は、将来的な活用に生かすために、発掘調査後に移設した。今後の活用方法については、状態を確認し、見ていただく方法があれば、専門家の意見を聞きながら、費用面も含めよく考えたい。

他の質問項目

- ・広域観光について
- ・新型コロナウイルス感染拡大による影響について



会派 創生  
だいぶつ  
題佛  
しんいち  
臣一

除雪

除雪対策を進めよ

**問** 東西アクセス道路の消雪施設整備の進捗状況は。また県管理道路・嶺北6市の幹線道路の除雪状況を地図上で表示する「みち情報ネットふくい」へ本市も参加すべきではないか。  
**答** 戸谷片屋線の武生商工会議所前から北陸自動車道付近までの区間、および県道武生美山線の新在家交差点から桜大橋通りまでの区間は整備が完了している。「みち情報ネットふくい」への参加については、令和4年度の除雪車へのGPS導入後に向け検討を行っている。

他の質問項目

- ・市の働く世代と企業へのコロナ対策
- ・外国人との共生について



市民ネットワーク  
こたま  
小玉  
しゅんいち  
俊一

雇用対策

雇用対策についての考え

**問** 雇用対策について、市内、県内の潜在労働力を掘り起こすための斬新な施策を企業とともに考えてほしい。  
**答** 本市は働く女性や高齢者が多く、潜在労働力は少ないと分析している。そのため、若者に本市に戻ってもらう政策と、中小企業の雇用確保のための政策など全体的な対応が重要と考え、「越前市に住みたい、帰ってきたい」と思えるまちづくりを進める中で雇用対策を考える必要がある。

他の質問項目

- ・空き家対策について



会派 創生  
なかにし  
中西  
あきお  
昭雄

情報公開

全職員に情報公開についての研修を

**問** 22年前の武生市時代に、市民との協働による市政を目指し「情報公開条例」を策定した。新市長の下、改めて全職員対象として「情報公開」の研修実施を求める。  
**答** 情報公開の研修は例年、新採用職員全員に受講させているが、定期的な学び直しが必要であると考えているため、今後、研修の方法や対象者などを具体的に検討して実施していく。

他の質問項目

- ・ダイバーシティ推進室の充実と男女共同参画推進室の再興を
- ・脱炭素社会推進に当たって、全職員への環境研修を



諸派  
おおくほけいこ  
大久保恵子

各分科会 報告内容 (一部)

総務分科会

**Q:** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の額はどのように決定されたのか。また、必要な事業に適切に配分されたのか。

**A:** 国が、各自治体の人口、財政力、当時の新型コロナウイルス感染状況を基に算定し、提示した額である。配分については、全庁的に必要な事業を拾い出し、計画書を国に提出したところ、全額の交付決定となった。

【他の質問事項】

- 借上土地・建物管理事業について
- 安全安心まちづくり事業について

教育厚生分科会

**Q:** 学校適応支援事業の訪問指導員やスクールソーシャルワーカー、不登校自立支援員などの報酬費が予算額よりだいぶ少ないが、人数は不足していないのか。また、不登校者は増えていないのか。

**A:** 新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校期間があったため少なくなった。不登校生は徐々に増えており、不登校の低年齢化が進んでいる。

【他の質問事項】

- 市単独の臨時特別給付金3万円の支給率について
- 保育士確保の実績について

産業建設分科会

**Q:** 水道事業経営について、平成23年3月定例会の付帯決議で抜本的改革に努め、給水料金の引き下げを行うことを求めたが、県水単価が下がるまで料金を下げられなかったのはなぜか。

**A:** 水道事業の民間委託にあわせて職員の人件費を減らすなど、取り組みを行ってきたが、老朽管の更新などがあり、通常の経営努力の中での値下げは難しい状況であったと考えている。

【他の質問事項】

- 中心市街地活性化事業について
- 砂防対策事業について

12月定例会の初日、9月定例会において決算特別委員会での継続審査となっていた令和2年度決算を認定しました。令和2年度決算については、9月下旬から10月上旬にかけて、各常任委員会所管ごとに開催された分科会での審査ののち、各月8日の決算特別委員会全体会で審査されたものです。 11

令和2年度決算を認定



議員 片粕 正二郎

都道府県議会議員及び市区町村議会議員  
総務大臣感謝状

議員在職35年以上

12月定例会で採決された人事  
教育委員会委員の任命に同意

岩坂 昭宏氏(粟田部町)

公平委員会委員の選任に同意

竹内 正和氏(岩内町)

監査委員の選任に同意

田中希世子氏(文京二丁目)

選挙管理委員会委員及び補充員に当選

委員 魚谷 充裕氏(南二丁目)

委員 館 君枝氏(瓜生町)

委員 佐々木久幸氏(松尾谷町)

委員 水野 俊子氏(新堂町)

補充員 三室 嘉弘氏(平出二丁目)

補充員 石本 恵子氏(五分市町)

補充員 吉村 年弘氏(畑町)

補充員 小林 容子氏(東庄境町)

# 委員長報告

提出された議案を審査するため、12月9～13日、17日に各委員会を開催しました。12月定例会最終日に行われた委員長報告から、令和3年度一般会計補正予算等の審査結果報告および視察報告の一部を紹介します。

委員長報告全文は3月に掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム

## 総務委員会

### 職員の早期退職の現状

**問** 職員の早期退職の状況は、人員の補充はどのように行っているのか。

**答** 傾向として、20代・30代の若い世代の退職が増えており、令和2年度は15名、令和3年度は12月1日時点で3名届出が提出されている。

早期退職希望の場合、来年度の職員採用計画に反映するため、9月末までに行方管理課まで申し出るよう通知している。各所属長が行う面談制度等も活用しながら、できるだけ早い時期に早期退職の意向を確認し、可能な限り次年度に補充できるように努めている。

また、今年度からは、離職防止のため新採用など若手職員1名に対し、面倒を見る先輩職員を1名配置するメンター制度を取り入れている。



### 市総合計画策定に向けて

**問** 市政情報調査事業の目的と依頼先は。

**答** まちづくりに資するために、大学教授や元大手観光施設社員等を招き、意見を伺うものである。3月定例会では、総合計画の手法等に関する概要を説明したいと考えている。

## 教育厚生委員会

### 子どもの遊び場整備事業補助金について

**問** 本事業の詳細は。

**答** 武生中央公園の東側に進出する店舗内に、事業者が全天候型の子ども遊び場を整備する予定である。3歳から12歳までを対象として、室内型のツリーハウスや工作コーナーなどを配置すると聞いている。

### 新型コロナウイルスワクチン接種について

**問** 3回目接種の実施に向けた、ワクチン接種券の配布方法は。

**答** 2回目の接種から7か月後をめぐり、順次、接種券を送付する予定である。

**問** 5歳から11歳までのワクチン接種の方法は。

**答** 現在、個別接種と集団接種を並行して行う方法を検討している。市内の小児科医、武生医師会と相談し、県とも協議している。

### 新生児に対する子育て世帯臨時特別給付金の給付方法

**問** 給付対象は令和4年3月31日までに生まれた者となっているが、新生児に対する給付は一括給付となるのか。

**答** 新生児に対しては、3月31日までに生まれた子で、4月以降に出生届を提出した場合でも、申請を受け付け、一括給付する予定である。

### 他の報告事項

- 子ども医療費の自己負担金500円の設定の考え方について
- 外国人児童生徒への支援人員の現状について

## 産業建設委員会

### ふるさと納税返礼品の発送は順調か

**問** 返礼品の発送に遅滞等は生じていないか。カニの価格高騰や漁獲高の減少が報道されているが、問題はないのか。

**答** 12月10日現在までの申し込み分は全て手配済である。一部の伝統工芸品など、製作に時間のかかるものについては、商品の紹介ページにその旨を記載し、寄付者の理解を得ながら、適切な発送に努めている。発送の遅滞やクレームといった状況は生じていない。

### 中心市街地活性化事業の現状を示す

**問** 市からの補助を受けての中心市街地への新規出店数は。

**答** 今年度の見込みも含めて、過去5年間で、出店、改装に対する補助は重点エリアで15件あり、中心市街地エリアで39件となる見込みである。

**問** 開店時の補助以外に、継続して支援する補助制度はないのか。

**答** 以前は補助制度があったが、運営経費の補助よりも、出店時や改装時の経費への支援を要望する声が多かったことから、制度を変更した。現在のところ、継続的な運営補助を行う予定はない。



### 北陸新幹線開業2年前イベントの意義は何か

**問** 開業2年前での機運醸成ということだが、この事業が持つ意味合いは。

**答** 県が北陸新幹線開業の2年前、1年前、開業当日の3段階に分けた機運醸成を行うことを制度化し、沿線市町が主体となつての事業実施を求めている。本市でも機運醸成のため、本事業をキックオフのイベントとして捉えており、県の支援を受けながら、3年間継続して実施していきたい。

## 視察報告

### 産業建設委員会

10月13日(水)

茨城県常総市

#### アグリサイエンスバレー構想について

産業建設委員会では、常総市にオンライン視察を行った。

常総市では、アグリサイエンスバレー構想を実現するため、構想段階から完成までを見据えたパートナー企業に、戸田建設株式会社を選定し、官民連携プロジェクトを進めている。越前たけふ駅前周辺整備事業におけるパートナー企業においても、同社が選定されたことから、本市におけるプロジェクトの実施にあたっての知見を得るために、視察を行った。

常総市では、首都圏中央連絡自動車道の開通に伴い、国道との交差点所に、インターチェンジ整備が決定し、広域交通の高まりから周辺の土地利用について関心が集まったが、当該土地は優良農地であったため、従来型の工業・産業系用地への転換という開発が困難であった。

そこで、農業施策を通じたまちづくりとして掲げられたのが、農業の産業化拠点となる産業団地を形成する、アグリサイエンスバレー構想であり、構想の実現に向け、事業協力者として選定されたのが、戸田建設株式会社であった。

視察においては、プロジェクトにおける市の役割や関わり方、事業を展開する中で生じた課題や問題点について教示を受けた。行政だからこそできる協議や、法的手続きを主体的に実施し、民間活力を発揮しやすくする支援を行うこと、地権者とパートナー企業との間に市が入り、信頼関係構築のつなぎ役となることが肝要との説明を受けた。

今回の視察を通し、官民連携プロジェクトにおいては、パートナー企業に手放しで任せるとはならず、事業における市と民間活力とのそれぞれの所掌範囲、負担、責任を明確にし、着実な進展を目指すことが重要であると感じた。

## 視察報告

### 議会運営委員会

11月6日(火)

三重県四日市市議会

#### 「決算審査と予算審査を連動させる政策サイクル」について

議会運営委員会と議会活性化特別委員会は合同で、四日市市議会にオンライン視察を行った。

四日市市議会では、令和元年度から決算審査の意見を集約し、次年度の当初予算編成に向け、市長へ提言を行う取り組みが開始された。

この取り組みは、決算審査での委員からの意見・課題を整理し、議会の提言として議長から市長に提言を行い、その後、次年度予算審査および翌年の決算審査において、提言に対する実施状況についてチェックを行うものである。また、反映されない場合は提言内容を見直すなど、一過性のものではなく、継続的に提言実現に取り組むサイクルとなっている。

2年間実施した所感としては、予算に係る提言となるよう、議員の意思を統一する必要が。また、予算編成は理事者の権限であることから、提言が反映されていない場合、理由を確認した上で、その結論を認めなければならぬ、ということであった。

今回の視察を通し、決算審査と予算審査を連動させる政策サイクルの仕組みは、議会の提言が政策にどれだけ反映されているかが明確になる一方で、議会全体が予算編成および政策への理解を一致させる必要がある。また、理事者側も提言内容を理解した上で受け入れ、実施するための体制を整える必要があるなど、十分な土壌形成が必須であると感じた。



議案の議決結果

令和3年12月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 付託委員会, 議決結果. Contains 13 rows of council proposals and their outcomes.

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 付託委員会, 議決結果. Contains 8 rows of council proposals and their outcomes.

令和4年1月越前市議会臨時会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 付託委員会, 議決結果. Contains 1 row of council proposals and their outcomes.

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成：○ 反対：× 欠席：欠)

Large table showing voting results for various council proposals across different political parties and members.

(注) 議長は採決には加わっていません。 共産：日本共産党議員団 諸：諸派



宇治市との意見交換会(オンライン)

を進めていく。

今後、本委員会では議会活性化に向け、議員間協議を重ね、研修会や市民との意見交換等を通して、調査研究を進めていく。

12月14日には、令和4年6月議会をめぐりに「市議会議員の議員報酬等の特別に関する条例」を上程するための素案の検討を開始した。この条例は、長期欠席議員の報酬削減および逮捕拘束された議員の報酬支給停止等の規則を定めるものとなる予定である。

意見交換会では、タブレット導入による利点と難点について、また市民からの意見聴取にあたっての工夫等について、意見を交わした。

10月18日および12月14日の計2回開催し、10月18日には、京都府宇治市議会とオンラインによる意見交換会等を実施した。

議会活性化特別委員会

特別委員会 委員長報告

また、今までの経過を受け、第3期では、市民が何を求めているかという視点で公共交通を考えていく必要がある、との回答があった。

この際、担当課からは、引き続き国の支援を要望していくとともに、イベント等で福武線の利用促進を図っていく。

委員からは、今後も高齢者などの移動制約者の増加が見込まれることから、国の継続的な支援を求めていくべきであるという意見や、市民に福武線の必要性を働きかけるべきという意見、また今後赤字が続いても支援を続けていくのかどうか十分な検討を求める意見などが出された。

12月14日に委員会を開催し、福井鉄道福武線の支援のあり方について、調査研究を行った。

公共交通対策特別委員会

まず、担当課から、福井鉄道株式会社設立後、沿線3市による支援スキーム作成に至った経緯と、第1期支援スキームの成果と課題、次に平成30年度から令和4年度までの第2期支援スキームの進捗状況と近年の取り組み、最後に令和5年度からの第3期支援スキームに向けたスケジュールなどについて、説明を受けた。



F1002号(通称フクラム)



# 議員研修会を実施

## 議員の定数と報酬の本質について学ぶ

1月20日(木)に講師に法政大学法学部教授の土山希美枝氏をお招きし、「議員の定数・報酬の本質を考える」をテーマに研修会を開催しました。

前半は講義形式で行われ、様々な角度から議員定数・報酬の問題について、お話をお聞きました。

例えば、議会の仕組みから定数を考えた場合、議会は地域の政策を議論し意思の集約を行っていく場であることから、実りある議論ができる人数を基準に常任委員会の数を乗じて導き出す方法。報酬については、生活給として算定する方法や、他市との比較を基に算定する方法などです。

その上で、定数・報酬の問題の本質は、市民の「理解と納得」を得ることであり、議会の機能や役割の認知、成果とそのための方針の可視化がなければ、市民の「理解と納得」は得られず、また、可視化するだけではなく、議会と議員で成果を共有し、その上で、市民の評価を得なければならぬ、とのことでした。

議員は議論することが仕事であり、より良い仕事をするために、市民の意見をもらい課題を共有するプロセスを見せることも可視化につながり、より開かれた議会になる。ひいては議会や政治に興味を持つ市民が増え、議員のなり手不足の解消や、若い人や女性の参画につながるのではないかとのお話も聞くことができました。

後半は、前半の講義内容に対する質疑や議会活動の工夫や悩みなど、付箋を利用してやり取りをする質疑応答を行いました。



政治に関心を持ってもらうにはどうすれば良いかの質問については、政治全般に興味を持つ人を増やすのではなく、特定のテーマに関心を持つ人は多いので、その人たちをつないでいく。また、なり手不足については、議員のやりがい報酬に反映される。やりがいがないと報酬が安いのでは、なり手不足のまま。議会だよりなどを利用して、議員自身が魅力ややりがいを発信していくことが、解決につながるのではないかとこの回答をいただきました。

現在、市議会では、議会活性化特別委員会を中心に、議員定数や報酬の見直しについてなどを議論しており、見直しの考え方や、市民の意見をもろうための議員活動の見える化の必要性について、とても参考になる講義でした。

越前市議会は今回の研修を通じ、今後も議員の定数と報酬についての議論を深めていきます。

### 3月定例会日程

月 日	時 間	会 議 名	丹南ケーブルテレビ再放送予定時間 (変更になる場合もあります)
2月18日(金)	午前10時	本会議(提案理由説明)	2月21日(月) 午後6時
24日(木)	午前10時	本会議(質疑)	2月28日(月) 午後6時
25日(金)	午前10時	本会議(質疑)	3月1日(火) 午後6時
28日(月)	午前10時	本会議(一般質問)	3月4日(金) 午後6時
3月1日(火)	午前10時	本会議(一般質問)	3月7日(月) 午後6時
2日(水)	午前10時	本会議(一般質問)	3月8日(火) 午後6時
3日(木)	午前10時	本会議(一般質問・予備日)	3月9日(水) 午後6時
4日(金)	午前10時	教育厚生委員会	
7日(月)			
8日(火)	午前10時		産業建設委員会
9日(水)			
10日(木)	午前10時	総務委員会	
11日(金)			
14日(月)	午前10時	公共交通対策特別委員会	
15日(火)	午後1時	議会活性化特別委員会	
16日(水)	午後1時	議会運営委員会	
18日(金)	午後2時	本会議(委員会審査結果報告 質疑・討論・採決)	3月22日(火) 午後6時

### 議会中継は丹南ケーブルテレビやパソコン・スマートフォンでもご覧いただけます

#### 丹南ケーブルテレビの場合

丹南ケーブルテレビで議会放送を見るときは92チャンネルです。議会放送中、091チャンネルは図のようになります。

#### 【通常放送時】

地域ふれあいチャンネル  
**091ch**

#### 【議会放送時】

地域ふれあいチャンネル  
**091ch** 議会放送  
**092ch** 議会放送(重なった場合)  
**093ch**

議会放送を見るためにはリモコンのこのボタンで092チャンネルに合わせてください。



#### パソコン・スマートフォンの場合

本会議の録画映像は**見たいときにいつでも議員ごと**に見ることができます。議会中継をご覧になるときは、市のホームページから入って次の手順でアクセスしてください。

#### ①越前市議会をクリック



#### ②インターネット議会中継をクリック

